

令和2年度 学校関係者評価委員会並びに
信頼されるための学校づくり委員会報告

令和3年1月21日実施

1 学校関係者評価委員

(敬称略)

委員名	備考
白 窪 勝 豊	南さつま市産業おこし部農林振興課長
弥 栄 光 則	社会福祉法人 障害者支援施設 光の里 施設長
竹 崎 賢 一	南さつま市立加世田中学校 校長
吉 永 賢 三	同窓会副幹事長
新屋敷 友 子	P T A会長

学校評価委員会

校長，教頭，事務長，津留，谷山，掛巢，朽木，肥後，西垂水，中原，北川
若松，西

2 意見交換内容（信頼されるための学校づくり委員会の内容も含む）

(1) 学校評価委員からの質問・意見

ア 常潤高校の魅力のPRと地域と生徒との関わりについて

- ・ どうすれば地域から注目され、学校の活性化に繋がるかは専門家の意見も含めて検討されているでしょうから、それについてのロードマップを示して欲しい
- ・ 学校の特徴や魅力ある活動の「見える化」を、更に分かりやすくできないか。
- ・ 中学生のスマホ保有率は65%であり、SNSよりアナログな看板等で情報を得ているようである。従って、国道沿いに学校案内の看板等を更に効果的に設置した方が、学校を知ってもらえるのではないか。
- ・ 情報弱者でもユーチューブは閲覧するので、学校の情報をユーチューブにアップしてはどうか。
- ・ 生徒がメッセージやアイデアを出し合い、学校の資源を生かして新しいロゴマーク「常潤の森」を完成させたことは素晴らしいことである。
- ・ これまでも実施していただいているが、高校の先生や生徒が中学校に来ての出前授業や中学生が高校へ行って学ぶ専門高校体験学習等を継続して実施することにより関係が深まり、お互いの思いが通じるのではないか。
- ・ 農業科と福祉科がコラボした「農福連携の取組」で、ミカン狩り等を実施しており、今後も地域に貢献した活動を継続して欲しい。
- ・ 以前から地域の保育園児を対象に、校内圃場を活用して「ふれあい農園でのサツマイモ栽培」に取り組んでいる。食農教育の一環として大切なことであり、これからも継続してください。

イ 募集定員の確保について

- ・ 主な取組として、高校説明会や中高連絡会、夜間高校説明会やブログの毎日更新などを積極的に行い、加えて学校だよりを地域回覧版へ掲載等するなど、情報発信等も行っているが、十分に中学生に本校の取組情報が伝わっていないこともあるので、保護者、中学校の担任等に対するPR方法を再検討する必要があるのではないか。
- ・ 前回も指摘したが、常潤高校と他校との違いをもっとアピールして欲しい。